

お願い

スクエア形LEDセンサーライトSLK500をお買い求めいただきありがとうございます。ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。また、この説明書は購入日を証明するレシートなどと共に、大切に保管してください。

安全上のご注意

⚠ 警告 【人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容】

■ 乾電池のプラス(+)、マイナス(-)を間違えてセットしないでください。間違えてセットしますと乾電池が急激に発熱し爆発や液漏れにより損傷を負うことがあります。液が皮膚に付着した場合は、すぐに液を流水でよく洗い流してください。目に入った場合は、医師にご相談ください。また、飛び散った液はティッシュペーパーや雑巾等できれいに拭き取ってください。

⚠ 注意 【人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容】

- 機器を投げない。落下させない。(人に当たるとけがをする可能性があります)本体ケースが落下により破損・動作不良になった場合は、保証の対象にはなりません。
- 電池切れで点灯しなくなったらすぐに電池を外す。使用しないで保存するときは、必ず、電池を抜いておいてください。(液漏れにより機器を壊す、置き場所の床やカーペット、家具などを汚す恐れがあります。)
- 分解、改造、修理などしない。(火傷や感電の原因になります。)
- 異常が発生したら電池を取り外す。(発熱や発火の原因になります。)
- 高温の場所(ストーブの近くや車の中など)に置かない。使用しない。(故障や電池の液漏れ、誤動作の原因になります。)

人感センサーについて (必ずお読みください)

SLK500に使用しているセンサーは、赤外線動きを検知するセンサーです。

- ・ 赤外線は人体の他、動物など体温のあるものの動きも感知します。また、車の排気ガス、太陽で熱せられた暖かい空気、エアコンから出る暖かい空気の動きなどにも反応します。これらの熱源により点灯する場合は誤動作ではありません。
- ・ 屋外設置の場合、早朝や夕刻に太陽光や風による樹木や葉の動きで動作することがあります。これも赤外線の動きを感知していますので誤動作ではありません。
- ・ 酷暑期間中に人が通っても反応しないことがあります。また、すぐ近くに近づかないと反応しない場合もあります。これは人体と同等の温度の中での動きに対しては感知しないため、これも、誤動作や動作不良ではありません。
- ・ 太陽光が直接センサーに当たる場所では使用しないでください。センサーが劣化し感度が低下していき、いずれは感知なくなります。
- ・ 寒い時期では、冷え切った体の人や沢山衣類を着た人が通ると、動作しない場合があります。これは赤外線を検知しにくいため、動作不良ではありません。
- ・ センサーの前にガラス窓がある場合、ガラスの外を通過する人には感知しません。
- ・ センサーの周囲に金属板や大理石、ガラス、固い壁面がある場合は、センサーの感知範囲が大きく変化する場合があります。また、センサーを反対側に向けていても感知することもあります。

使用するにあたって

- ① SLK500を使用するには新品の単1形アルカリ電池3本または専用ACアダプターX0505を別途ご用意ください。
- ② 設置する前に動作試験をしてください。

使用上のご注意

1. 製品について

- LEDの交換はできません。
- 商品の特性上、LED光の色や明るさにバラツキが出ることがありますが、不良ではありませんので、ご了承ください。
- LED光の明るさは、電池の残量が下がると暗くなることがあります。
- 屋外に設置する場合は、直接雨のかからない軒下等に設置してください。また、風雨に煽られて落下しないよう取付プレートをしっかりと固定してください。ACアダプターを使用する場合、雨のかかる場所では使用できません。
- 機器を落下させないようご注意ください。落下させて破損または故障させた場合は保証の対象にはなりません。
- パッケージを開封するときには手や衣服を傷つけないよう、ホッチキス止めの取り扱いにはご注意ください。
- 仕様及び外観・外装は改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

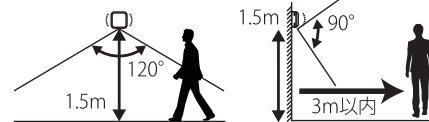
2. 電池について

- 電池は付属していません。あらかじめご用意ください。
- 電池は3本とも新品、同一メーカー、同一ロット生産のアルカリ電池をご使用ください。異なるメーカーのものを混ぜる、新旧を混ぜて使用する、期限切れに近い電池を使用するなどしますと、すぐに電池が使用できなくなることがあります。
- マンガン電池や充電電池は使用しない。アルカリ電池と混ぜて使用しないでください。すぐに機器が使用できなくなります。
- 濡れた手で、或いは機器が濡れているときに電池を交換しないでください。故障の原因になります。
- 落下させた電池、圧力や衝撃を加えた電池は使用しないでください。液漏れの原因になります。

感知範囲について

■ 垂直面に設置する場合

- ・ 広範囲で遠くから感知したい場合は、より高い場所に設置してください。



- ・ 低い場所に設置する場合は感知範囲が狭くなります。

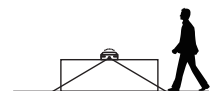


- ・ 設置面にまっすぐ近づく場合はすぐ近くまで行かないと感知しません。

- ・ 設置面に水平方向に歩く場合は遠くから感知します。

■ 水平面に設置する場合

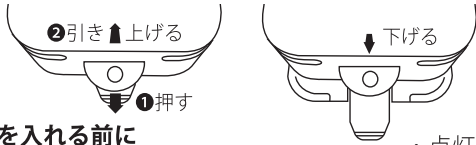
- ・ 棚や台上に設置する場合は、センサーを人が動く方向に向けて置いてください。



使用方法

① 取付プレートの着脱

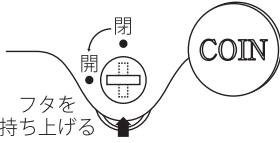
- 取付プレートのロック解除つまみを押しつけながら本体を引き上げるとプレートが外れます。



- 装着するときは本体のセンサーレンズとロック解除つまみを同じ位置に合わせて本体を差し込みます。

② 電池を入れる前に

- 電池フタのロックをコインを使用して水平方向に回し、先端の隙間に爪を入れて引き上げてフタを開けます。

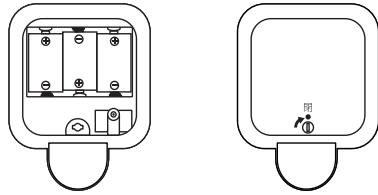


- 点灯時間・明るさ・点灯条件を選びます。

点灯時間		15秒	90秒
明るさ		2W	4W
点灯条件		明	暗

③ 電池を入れます。

- 本体の上で蓋が平らになるように入れます。ロックを90度回し、フタをロックします。



④ 動作確認をします。

暗い時だけ点灯モードにしている場合、明るい場所では点灯しません。

- 人体の動きを感知してLEDライトが設定した時間だけ点灯します。
- 点灯後、センサーの前で人が動いていると、点灯し続けます。
- 一度ライトが消えると、人が動いても3秒程度の間は点灯しません。

保証規定 無償保証期間は購入後1年間です

- 本商品には保証書はついておりません。お買い求めになった店舗のレシートの写しを保証書に変えて、この取り扱い説明書と共に大切に保管してください。故障による無償保証を行う時は、レシートの写しを添えて当社のお客さま相談室にご連絡ください。
- 本商品を購入後1年以内に発生した故障、不具合の場合は下記の無償保証規定に従って無償で修理又は交換いたします。故障の原因を明確にして当社までご連絡ください。

無償保証規定

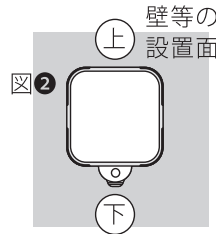
- 取扱説明書及び本商品の注意書きに従った正常な使用で、保証期間内に故障した場合、無償修理又は交換いたします。
- 故障の場合はご購入の販売店ではなく、直接、当社のお客さま相談室に電話・FAX・メールなどご連絡ください。
- 無償保証に該当する故障の場合は往復の送料は弊社が負担いたします。

有償保証

レシートの写しの提示がなく、ご購入日が明確でない場合及び、保証規定内でも次のような場合には有償修理となります。

- 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の落下、取付場所の移動、輸送、不適當保存時の故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧その他の防御できない外部要因による故障。
 - 一般家庭以外（例えば業務用の繁雑・長期連続使用、車両・船舶へ搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - 無償修理交換以外の運送費、諸掛費用はおお客様のご負担となります。
- 本保証規定は日本国内においてのみ有効です。This warranty valid only in JAPAN.

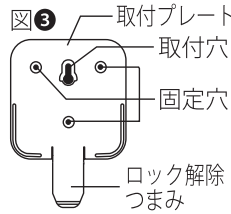
設置方法



① 設置位置を決めます。

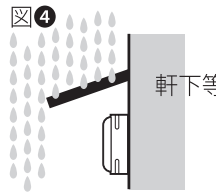
- 取付プレートを設置してから、本体を差し込みます。垂直面に設置する場合はセンサーレンズと取付プレートのロック解除つまみが必ず下向きになるように設置してください。

- 引っ掛ける場合は中央のネジ受けを利用。固定する場合は3カ所の穴を壁面にネジ止めしてください。ネジが効かない外壁面には、付属の樹脂リブを使用してください。（下穴を開け、樹脂リブを打ち込み、樹脂リブにネジをねじこみます。）



- 屋外に設置する場合は、直接雨のかからない軒下等に設置してください。また、風雨に煽られて落下しないよう取付プレートをしっかりと固定してください。

- 取付プレートを止めたら、センサーレンズを下向きにして本体をカチッと鳴るまで差し込んでください。



- 防沫、防塵性能を維持するため、壁面には垂直に、台上では水平に設置してください。

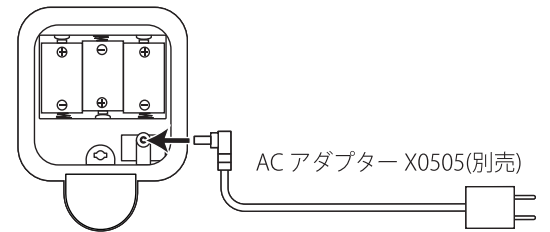
- 水に浸かる、水はげが悪い場所には設置しないでください。

アダプター(別売)を使用する場合

ACアダプタージャックにACアダプターを差し込み、フタをして使用します。

⚠ ご注意

- 電池とACアダプターは絶対に併用しないでください。
- ACアダプターで使用する場合、雨のかかる場所では使用できません。



推奨する配線方法

屋外軒下に設置する場合、電源部の防水処理は完全に行ってください。ACアダプターは防水型ではありません。防水ボックス、防水・防湿テープなどで防水処理は必ず行ってください。

